



「働き方」・「働く場」変革の実証の場

THE PLACE for Change Working®

THE PLACE for Change Working® とは？

「THE PLACE for Change Working®」は、UCHIDAが考える働き方変革を、
10年間にわたり自ら取り組んでいる実証型ワークプレイスです。
より生産性が高く躍動的なワークスタイルの実現に向け、常にアップデートしながら
「働き方」と「働く場」の在り方を探っています。理想の働き方を実現するための「場」を、
実際に働くわたしたちの姿とともにご体感ください。

THE PLACE for Change Working®

〒104-0033 東京都中央区新川 2-3-9 お客様相談センター：TEL. 0120-077-266

鉄道をご利用の場合

東京メトロ 日比谷線「八丁堀駅」下車、「A4」出口より徒歩4分
東京メトロ 日比谷線・東西線「茅場町駅」下車、「1番」出口より徒歩5分
JR京葉線「八丁堀駅」下車、「B1」出口より徒歩5分

東京駅よりバスをご利用の場合

東京駅八重洲南口より「東15系統」もしくは「東16系統」で「深川車庫」、
「豊洲駅」、「住友ツインビル」行きで4つめの停留所「新川」
(内田洋行本社前とアナウンス有り)で下車 徒歩1分
※お車でのご来館はご遠慮ください。

ご見学予約は
こちら



内田洋行 ネットワークビジネス 推進統括部

〒135-0016 東京都江東区東陽 2-3-25 住生興和東陽町ビル
TEL : 03-6659-7076

- ・当カタログ掲載商品の価格・仕様は、諸般の事情により予告なく変更される場合があります。予めご了承ください。
- ・開発中の画面や仕様が含まれている場合があります。ご了承ください。
- ・記載されている会社名、ロゴ及び製品名は、各社の登録商標または商標です。



UCHIDA

より、
自分で選ぶ
働き方へ。

「人」と「場」に関するデータを元に、働き方と働く場を最適化します。

働く人や場を「誰もが簡単に探して、いつでも安心して使える」ように

社会の変化に伴って働き方の多様化が進んでいます。わたしたちは、「働き方の見える化」により業務を効率化し、どこにいても使いやすい安全な環境を提供し、生産性の向上を促します。

※Active Commons (アクティブ・コモンズ)は、さまざまな業務に応じて最適な場所を能動的に選んで働くというスタイルです。

Active Commons*を実現する働き方や働く場を支援



STORY.01

利用者視点

今日はどの席で働こうか？

フリーアドレスのオフィス、まずは座席の使用状況をチェック。座席を決めたら、スマホから簡単にチェックインして業務開始。



STORY.07

利用者視点

出社の日は気になっていた件を対面で話しておきたい、どこにいる？

オフィス内での人の居場所を簡単に把握。貴重な対面コミュニケーションの機会を逃さない。

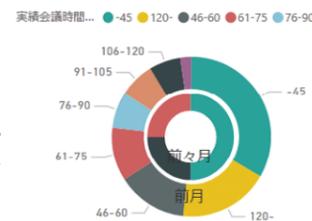


STORY.06

働き方そのものをアップデート

例えば、会議の実施データを分析し、長時間会議の削減や会議の質の向上へ。社員の行動、働き方の実態がデータ化されることで、その分析をより生産性向上や社員の満足度向上などにつなげることが可能に。

長時間会議の割合



運用管理者・経営者視点

STORY.02

利用者視点

限られた会議時間、会議準備は手早く終わらせないと

オンライン会議も常態化、機器のセットアップに時間がかかってはもったいない。急な会議が発生しても、会議室利用状況を見て空いている場所をすぐに確保。事前準備はできるだけ手間を省き、大切なコミュニケーションにフォーカス。



STORY.03

運用管理者・経営者視点

社員にとって安心安全な「働く場」を提供したい

働く社員が業務に応じて、その時の心理に応じて、主体的に働き方を選択して、生産性高く働ける場を。一人一人の社員に寄り添える環境づくりへ。



STORY.04

運用管理者・経営者視点

まずは現状把握が必要。

会議室の利用状況、座席やオープンスペースの利用状況など、各種ワークスペースの分析を行い、より有効な「働く場」づくりへ。



社員の働き方を見ながら柔軟にオフィスを対応させていきたい

STORY.05

利用者視点

営業先が本社とサテライトオフィスの中間地点、どちらに帰社する？

オフィスの混雑状況をチェック、今本社はとても混んでいるようだ。密を避けて静かに仕事をしたいので、今日はサテライトオフィスで残りの仕事を片付けよう。

